

新ポスト「教務補佐」とは？業務内容や担当教員をご紹介します

本校では4月より教職員体制に「教務補佐」のポストを新設しました。教務補佐について理解を深めていただきたく、業務内容や担当の教員をご紹介します。また設置に至る経緯や目的についても関係者よりお話を伺いました。

教務補佐設置の経緯と目的について

皆様、日本から派遣されている校長先生と教頭先生（派遣教員）が、平日も土曜日も様々な学校業務に追われ、多忙を極めていることをご存じでしょうか。過去に教頭先生を二人（校長先生と合わせて三人）派遣していただいていた頃と変わらない業務をお二人で担われております。派遣教員業務（教務）は多岐にわたり、通常の学校業務だけでなく、各種学校行事の企画遂行、教員の指導、代講業務など、目に見えるだけでも相当な業務量となっています。昨年度はコロナの影響で、先生方が急遽お休みの際には何度も代講に入っていただきました。派遣教員業務の補佐の必要性は長く認識されておりましたが、本年度より教職員の疾病休暇制度が導入されるにあたり、派遣教員が代講を務める機会が増える予想されたことから、「教務補佐」を新設し、2年間施行することになりました。



転入学説明会にも携わることで 派遣教員の負担を軽減

教務補佐を設けた理由の一つに、派遣教員が土曜日の通常業務で忙しく、授業を監督に行く時間が極めて限られているという問題があります。指導経験豊富な校長先生と教頭先生が、一般の先生を指導することは大切な業務ですが、この業務に費やす時間がないことは、学校にとって大きな損失です。現況を解消すべく、管理運営委員会で議論を重ねた上で、今年度より新たな取り組みとして教務補佐の先生に教員体制に加わっていただき、派遣教員と一緒に学校運営の向上に取り組んでもらうことになりました。まず、教務補佐の先生には、派遣教員が授業中に各教室を巡る時間をより多く取れるよう、教務を分担し、学校全体に目を配り、授業を担当する先生に細やかなサポートをしていただくようお願いしております。また、派遣

教員の交代に伴う空席期間（3月後半から4月初旬）に、派遣教員業務の代行と引き継ぎを支援していただくことも重要な業務となります。さらに、ワシントン日本語学校の独自の取り組みに継続的に関わっていただくことも今後期待していることの一つです。このように、派遣教員と同様の引率力と指導力が期待される教務補佐は、神戸前校長先生からの強い推薦を受けて、現在ホール千晴先生がお引き受けくださっています。

2023年度に入り、毎授業日にホール先生は、学校を駆け回ってくださっています。また、先生方の授業研究にも熱心に取り組んでくださり、校長先生と教頭先生、そしてホール先生が軸となって、新たに学校が回り始めていることを感じております。今年度ホール先生に担任をしていただいたかったご家庭も多いと思いますが、教務補佐という立場を通して、ホール先生は生徒の学校生活がより良いものとなるよう活動をしてくださっております。教務補佐は、2年間の試行期間中に必ずや学校になくはない存在になってくれるものと確信しております。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。—教育人事部 大島由美子部長—



時間が許す限り教室を回って
教員や児童・生徒をサポート

ホール千晴先生には、ワシントン日本語学校の子供たち全員の副担任のような存在として、いつでも、どこでも、学習指導や生徒指導を行い、また、「共働学習」推進のため、先生方の研修にも積極的に携わってもらっています。教務補佐の仕事は、子供たちが楽しく学校生活を送り、学力を高めるために重要であり、今後もその活躍が期待される場所です。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。—猪股俊哉教頭先生—

教務補佐の仕事を紹介します ホール千晴

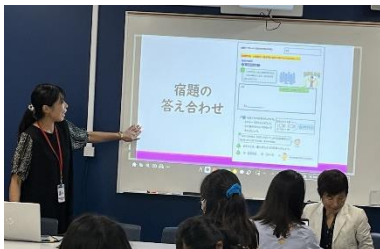
「今年、ホール先生は教えていないのですか。」と毎週のように尋ねられます。そうなんです。今年度はこれまでのような担任としてではなく、新設された「教務補佐」として勤務しています。校舎中を巡回しているので、皆さんもよく私の姿を目にされていることでしょう。では、具体的にどんな業務をしているか、6月10日を例に紹介します。

- 8:10～ 8:50 特別講演会に向けて体育館の準備
- 8:55～ 9:20 職員朝会に2回参加
- 9:30～11:45 特別講演会 生徒指導と後片付け
- 11:45～12:20 教室巡回
- 12:25～13:00 生徒会会議（生徒会顧問）
- 13:00～13:15 プレイグラウンド巡回
- 13:30～15:00 小3、小6 実力テスト保護者説明会参加
- 15:00～15:45 文書整理（出勤簿、学習計画表などの整理）
- 16:00～17:30 共働学習 幼小国語部会／算数部会参加（時間外）



**授業や行事に必要な備品の準備も
円滑な学校運営には必要不可欠**

ご覧の通り、とにかく一日中走り回っています。行事がない場合は、学級に入って教員、児童・生徒をサポートする時間が増えます。でも、万が一急遽欠勤する教員が出た場合は、すべての業務をキャンセルし、代講として学級に入って授業を行います。いかなる場合でも、滞りなく授業を行うのも、私の大切な業務の一つです。



**模擬授業を通して全教員の
指導力の向上を目指す**

また、入学式、運動会、卒園式、卒業式などの準備や入学説明会などのサポートも仕事の一つです。その他にも、研究主任としての役割を任されており、教員の「共働学習にかかる研修会」を計画・運営し、教員の指導力向上に努めています。8月19日には私が教師、教員が児童役となって小学校算数の模擬授業を行い、授業の進め方や指導技術についてみんなで実践的に学び合いました。また、最も皆さんに好評をいただいているのが研究便りです。概ね隔週で発行し、指導力向上に有益な情報を共有したり、各教員の素晴らしい取り組みを紹介したりし、教員の指導力向上に対する意識が高まるように働きかけています。

教員・学級のサポートも私の重要な役割です。指導方法に悩んでいる教員の相談にのって共に授業を進め、授業中困っている児童・生徒に寄り添います。日本での小学校教員経験で得た知識やスキルを生かし、ワシントン日本語学校の縁の下で力持ちとなって役に立てたら幸いです。

教務補佐としての勤務を通じて、ワシントン日本語学校は、運営委員会、保護者の皆さん、事務局、そして教職員など、多くの人々の力添えによって運営されており、まさに「共働」の賜物なのだとことを、改めて実感しています。児童・生徒、保護者の皆さんの願いに耳を傾け、また教職員みんなのチームワーク力をより一層高め、ワシントン日本語学校に集う全員が笑顔になれる学校づくりを目指し、これからも尽力していきたいと考えています。皆さん、今後とも温かいご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



ホール千晴先生

経歴：北海道札幌市で小学校教員として13年間勤務。本校勤務は8年目。

本校ではこれまで小4・小6・中2国語を担当。

教員としてのモットー：学校一怖い先生、でも学校一おもしろい先生

わかる楽しい授業づくりと一人一人の個性が生きる学習集団作り

保護者交流サロンも開催！年次総会は 10 月 21 日 4 階図書室にて

2023 年度の年次総会が、10 月 21 日（土）に聖心 SR 校 4 階図書室（旧 4 階カフェテリア）にて開催されます。開始時刻は調整中ですが、朝のドロップオフ後の開催となる予定です。今回の総会では、管理運営委員会各部の活動報告に加え、安全管理対策や生徒数・収入の現状などを協議する小委員会からの発表も行われます。



なお、今後の総会の開催形態は対面のみとなります。4 月の特別総会では試行的にオンラインでも参加できるようにしましたが、オンラインでの出席者数が管理運営委員会で事前に定めた基準に達しなかったため、オンライン開催に要する負担などを考慮して今後は行わないことにいたしました。オンラインでの参加を希望されていた方には申し訳ございませんが、ご了承いただけますようお願いいたします。

年次総会の終了後には、保護者交流サロンも開催される予定です。総会で聞きそびれた質問や運営委員会に関する素朴な疑問に運営委員がお答えするだけでなく、学校運営や家庭学習についての率直なご意見もお聞かせください。保護者交流サロンは、保護者同士が気軽に交流できる場です。ぜひ情報交換の機会としてもご活用ください。詳しくは一斉メールでお知らせいたします。総会についてのご質問は（uneiiinkai@wjls.org）までお寄せください。

みらい共育小委員会*企画「放課後数学講座」を 11 月から開始！

～数学が強い人に共通する、数学「概念」の理解を深めます～

* みらい共育小委員会とは——管理運営委員会では、特定の課題に対応するために、期間限定で小委員会を設けることがあります。みらい共育小委員会は 2023 年 4 月に発足し、これからの日本語学校（みらい）での様々な学びの機会を通じ、共に成長していくこと（共育）を目指しています。具体的な取り組みとしてまずは、多様化する需要に応えた学習プログラムを提供するための活動を開始しました。



本校では現在、日本の教科書に沿った国語、算数（数学）と合科（または社会、小論文）の授業を行っています。開講されていない科目・分野への開講要望は聞かれますが、新授業としてすぐに対応するのは難しい状況です。そこで、児童・生徒たちの「もっと日本語で学びたい！」に応えるために、今後どんなクラスをどのように提供したらよいのかを検討する取り組みの一環として、日本の学習塾と提携した放課後中学数学講座を開講することになりました。参加者の学年制限は設けませんので、一歩先を目指す小学 6 年生や、理解をさらに深めたい高校生も参加できます。

この放課後数学講座では、土曜日放課後の 1 時間、教室に集まって日本からのライブ授業を受けます。講座は、前期 6 回（11 月～12 月）、後期 6 回（1～2 月）の全 12 回で、前期終了後に後期受講希望者の募集を開始します。講師は、東京にある数学指導塾「[マスゼミ](#)」塾長の[林俊介先生](#)です。林先生は、日本数学オリンピック（JMO）本選に 2 回出場、高 3 で日本物理オリンピック（JPhO）で金メダル獲得という経歴の持ち主です。また近著「100 年前の東大入試数学」や、発売即重版となった「語りかける東大数学-奥深き理工学への招待」でも知られています。授業では「数学における情報整理、論理と答案」をテーマに、今後の数学学習につながる重要な項目をカバーします。

申し込み方法や講座内容等の詳細は、来週 9 月 12 日（火）配信の一斉メールをご覧ください。ご参加お待ちしております！なお、本件へのお問い合わせは、みらい共育小委員会（mirai.kyouiku@wjls.org）まで。

【参考】[株式会社スタグリット](#)（マスゼミの経営母体。学校向け教育支援と中高生向けオンライン教室を実施）

夢を実現！宇宙飛行士候補内定者の諏訪理さんが特別講演

6月24日に宇宙飛行士候補生に選抜された諏訪理（すわ・まこと）さんが本校創立65周年を記念した特別講演を行い、宇宙飛行士選抜試験での実体験とこれからの有人宇宙探査にける意気込みについて熱く語ってくださいました。講演会は夏休み前の最終授業日の開催となりましたが、250名を超える生徒・保護者の参加がありました。

諏訪さんは当時本校の保護者でもあり、JAXA（宇宙航空研究開発機構）で13年ぶりに行われた宇宙飛行士募集において4,000名を超える応募者の中から、今年2月に選抜されました。実は2回目の選抜試験受験となった諏訪さん。講演で宇宙飛行士に興味を持ったきっかけについて、小学生の時に雑誌の企画でNASA（アメリカ航空宇宙局）を訪れ、アポロ計画で月面に降り立ったユージン・サーナン宇宙飛行士に会った経験が大きな影響になったと話しました。選抜試験では英語の試験や面接に加え、閉鎖された環境下で1週間ほかの応募者と過ごしなが課題に取り組んだり、ロボットアームの操作試験を行ったりしたそうです。生徒からは「前回の試験の後にどんなことを考えていたの？」「宇宙に行ったらまず何をしたい？」という質問が寄せられました。



諏訪理さん



選抜試験ではチームワークが重要視されていたと語る諏訪さん

諏訪さんは本校での講演を終えた直後、日本へご帰国され、岸田文雄内閣総理大臣（*1）・高市早苗内閣府特命担当大臣（宇宙開発担当）（*2）へのご挨拶を行われました。現在、宇宙飛行士認定のための訓練に取り組まれています。

日本はアルテミス計画（*3）に参加しており、アメリカに次ぐ世界で2番目の国として日本人の有人月面着陸（*4）を目指し、月面自動車（*5）等を提供するための準備活動が行われています。諏訪さんが月に行き、日本製の月面自動車を世界で初めて運転する日もそう遠くないかもしれません。記事の最後に帰国後の諏訪さんの様子やアルテミス計画についてのリンクを掲載していますので、ぜひご覧ください。続いて、参加者から寄せられた感想と諏訪さんへのメッセージをご紹介します。

ぼくはレゴでひこうきや宇宙船をつくるのが好きです。こんど、すわさんが乗る宇宙船をレゴで作りたいと思いました。（幼稚部）

諏訪さんは小さいころの夢をかなえたと聞いて、私も大きくなったら何になりたいかをよく考えてみたいと思いました。（小4）

ぼくはいつか宇宙エレベーターを作って宇宙にいったいと思っています。諏訪さんのお話を聞いて、もっと宇宙に行きたくなりました。もし僕が宇宙エレベーターを作れたら、諏訪さんも乗ってくださいね。（小3）

宇宙飛行士に選ばれた時に、諏訪さんの家族のみんなもとても喜んでいたことが心に残りました。（小6）

地球のことを学ばれた諏訪さんが、さらに広く宇宙でも研究されることを応援しています。宇宙には地球に無い物質、化学反応もあることでしょう。新たに発見されたこと、知ったことを私達に共有していただけることを楽しみにしています。（教職員）

失敗は挑戦の証という言葉に深く感銘を受けました。もちろん諏訪さんが特別な方だから選ばれたのだと思いますが、いつ来るかわからない試験に備えて、失敗を恐れず、挑戦されて夢を掴まれたと聞いて、毎日何かを思い続けて努力し続けることが大切だなと思いました。（保護者）

宇宙に行っても、どんな
大変なことでもあきら
めずに続けてください。
おうんしています。

月はかたそうに見えてボコボ
コだから、ころばないように
気を付けてください。

諏訪さんのご活躍を
楽しみにしています。

新しい宇宙飛行士の時代
になることを信じています！

次は宇宙からまた子供
達にすばらしい体験を
発信してください！

ご自身の夢に向かって
頑張ってください。

宇宙に行く練習を頑張
って、絶対に宇宙に行
ってください！！！！

次はブルースーツに身を
包んでワシントン日本語
学校にお越しください。

- (*1) [2023 年 7 月 3 日、諏訪宇宙飛行士候補生による岸田総理大臣への表敬](#)
- (*2) [2023 年 8 月 7 日、諏訪宇宙飛行士候補生による高市宇宙開発担当大臣への表敬](#)
- (*3) [2020 年 6 月 29 日、安倍元総理大臣によるアルテミス計画（米国が進める有人月探査計画）への参画表明](#)
- (*4) [2021 年 12 月 28 日、岸田総理大臣による 2020 年代後半の日本人月面着陸の実現推進](#)
- (*5) [2023 年 7 月 21 日、トヨタ自動車・三菱重工業による「有人月面与圧ローバ」の開発](#)

ウェブサイトリニューアルに伴う写真の掲載許可のお願い（広報部）

現在広報部では本校ウェブサイトの一部リニューアルを進めており、近くトップページの写真を更新する予定です。その際、6 月に行われた若田光一宇宙飛行士の特別授業の写真を掲載したいと考えておりますので、授業に参加した小 4～高 2 の保護者の皆様に掲載許可をいただきたくお知らせいたします。掲載するのは、全体集合写真と質疑応答時の写真（みらい通信 6 月号で使用）を予定しております。

お子様が写った写真の使用については「入学、進級に関する同意書」において学内向け媒体への掲載許可はいただいておりますが、今回はトップページへの使用のため改めてご連絡した次第です。許可していただける場合のご連絡は不要です。報道関係者による当該授業の撮影許可に関してご連絡をした際、許可しない家庭からのご連絡はなかったため、今回も同様に皆様にご了承いただけますようお願いいたします。個人が大きく特定される写真を使う場合には、今後も個別にご連絡して許可を取得するようにいたします。本件に関するお問い合わせは、広報部（koho@wjls.org）までお寄せください。



新運営委員をご紹介します（教育人事部 福嶋加代子さん）

娘が小学部4年生でお世話になっております。社会人になってから公立学校や教育業界で働いており、2年前までこの日本語学校でも教員として勤務しておりました。2020年AG5プロジェクトの研究授業公開の機会をいただいた時は、コロナ渦で始まった共働学習やオンライン授業にも挑戦した年でした。そのような中でも補習校にいる子供たちの学びを深めるために、日本の大学の先生やアドバイザーの先生方と研究するのはとても刺激的で学ぶことが多く、貴重な経験をさせていただきました。この度、運営委員会メンバーとして、違った立場で日本語学校に関わらせていただけるのでワクワクしています。日本語学校が子供たちをはじめ、学校に関わる全ての人が繋がっていき、懐の大きいコミュニティであるといいなと思います。微力ながらも頑張らせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



委員長からの報告



観測史上最高に暑かったという夏休みも終わり、子供たちの元気な声が日本語学校に戻ってきました。皆様、夏休みはいかがお過ごしでしたか？入口で会う子供たちはみんな笑顔で、何かをやり遂げた自信に満ちているような、そんなたくましさを感じています。

さて2期（8/19-12/16）に入り、管理運営委員会では、8月19日と9月2日に月例委員会を開催いたしました。両日ともに校長先生からの校務報告に続き、今年度設立された各小委員会からの活動報告や相談・提案等があり、活発な議論が交わされました。各小委員会についての詳細は、10月21日の年次総会で発表される予定です。

夏休み明けの日本語学校では、運動会に向けての準備が本格的になります。放課後、中学・高校生が応援練習で頑張っている姿を目にされた方も多いのではないのでしょうか。運動会は、多くの生徒の皆さんが大変楽しみにしている、日本語学校に通う理由の一つにもあがっている学校行事です。管理運営委員会では、現在、先生方・事務局と協力し、計画案の最終調整を行っているところです。学校関係者が一堂にグラウンドに集結するこの一大行事を、安全に楽しく実施するために、保護者の皆様のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

寄付にご協力ください！

Donate



ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの[「寄付概要」ページ](#)にある左の画像をクリックしてください。



委員長：	辻川扶紀
副委員長：	小寺友美
総務部：	成田伸一郎（部長）・大杉真名美・瀬尾学・竹村聡子・松林拓磨
財務部：	グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部：	大島由美子（部長）・片田順子・栗原美恵・塩崎桃子・福嶋加代子
広報部：	河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表：	松山徳子（低学年代表）・向山こずえ（中学年代表）・島未知子（高学年代表）

